

相馬野馬追

気候変動下における「適応」としての開催日程の変更

■ 相馬野馬追

福島県の相馬地方で3日間にわたって行われる祭典で、国の重要無形民俗文化財に指定されており、一千年以上の歴史を持つ。

約400騎の騎馬武者が甲冑をまとい、太刀を帯し、先祖伝来の旗指物を風になびかせながらの威風堂々にして豪華絢爛な時代絵巻を繰り広げる。

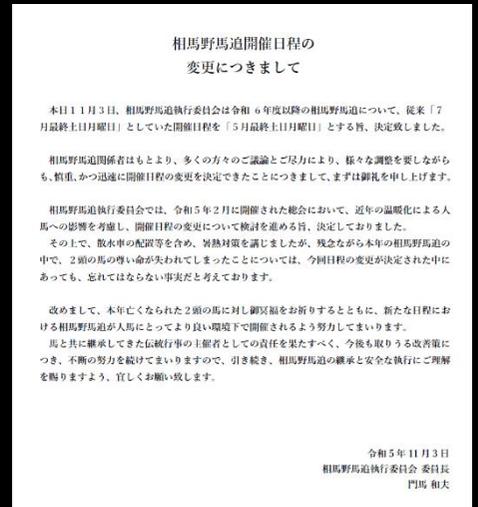
■ 開催日程の前倒し

近年の温暖化による人馬への影響から、関係者と様々な調整を行いながら、迅速に開催日程の前倒しを決定。

相馬野馬追の開催日程をそれまでの「7月最終の土・日・月曜日」から「5月最終の土・日・月曜日の3日間」とした。

■ 効果

熱中症による救護所対応件数が大幅に減少するなど、気候変動の影響を回避・軽減させる「適応」として大きな効果を発揮した。



救護の状況(5月25日(土)~27日(月))

- 救護所対応件数 39件(令和5年度:95件) 56件減
 - ▶熱中症及び熱中症前兆件数 18件(令和5年度:83件) 65件減
 - ▶打撲、外傷、その他 21件(令和5年度:12件) 9件増
- 騎馬救護所における診療件数 38件(令和5年度:112件) 74件減
 - ▶5月25日(土) 16件(すべて熱中症予防)(令和5年度:37件)
 - ▶5月26日(日) 22件(熱中症予防18件、外傷2件、捻挫2件)(令和5年度:75件)

観覧者数

- 野馬追(5月26日(日))
 - ▶雲雀ヶ原祭場地 33,000人(令和5年実績:28,000人)
 - ▶沿道 40,000人(令和5年実績:38,000人)
- 5月25日(土)~27日(月)(3日間)総入込数 130,500人(令和5年実績:121,400人)

